

中小企業景況調査結果(平成30年1~3月期)

中小企業の業況は、小幅な低下状況にある。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成30年1~3月期実績と平成30年4~6月期見通しについての調査結果(回答数84社、回答率84%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期の▲18%から▲20%と、やや低下した。業種別にみると、製造業が▲18%から▲29%と低下しており、来期は▲8%と大幅に上昇の見込みである。建設業は20%から31%と上昇しており、来期は15%と大幅に低下の見込みである。小売業は▲26%から▲31%と低下しており、来期は▲28%でやや上昇の見込みである。サービス業は、▲28%から▲28%と横ばいであり、来期も▲29%とほぼ横ばいの状況が続く見込みである。

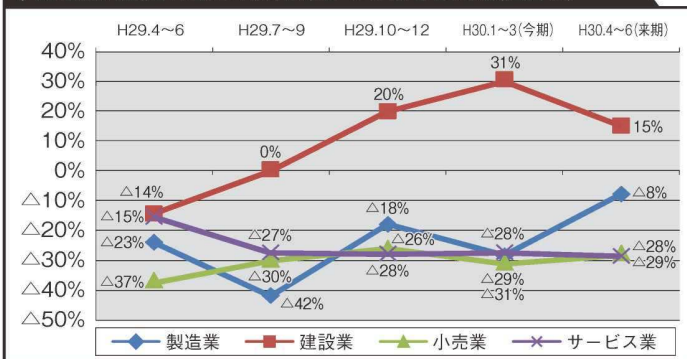
今回調査では、全業種で売上が低下傾向にあり、特に製造業・小売業については、大幅な売上の低下傾向が見られた。

新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の16%、来期設備投資を実施予定の企業は18%であった。経営上の問題点については、多くの業種で前回同様需要の停滞が挙げられている他、建設業については、熟練技術者・従業員・下請業者の確保難が上位に挙がっており、人手不足感の高まりが見られた。

◆業況DI値(今期の状況)

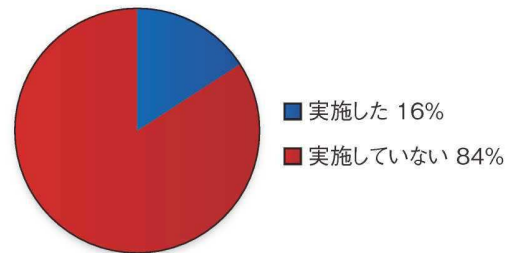
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△20%	↘	△35%	↘	△12%	↗	27%	↘	△32%	↗	△9%	↗
製造業	△29%	↘	△29%	↘	△14%	↗	57%	↗	△29%	↗	△15%	↗
建設業	31%	↗	15%	↘	8%	↗	38%	↘	△8%	↗	0%	↗
小売業	△31%	↘	△52%	↘	△12%	↗	0%	↘	△46%	↗	△8%	↘
サービス業	△28%	→	△46%	↘	△19%	↘	26%	↗	△28%	↘	△11%	↗

◆産業別業況判断DI(前3期からの推移と来期見通し)

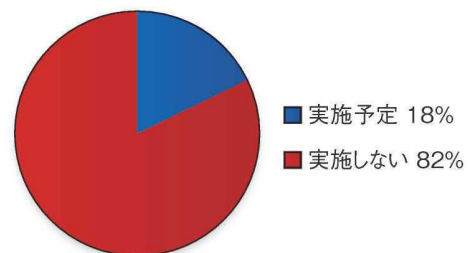


◆新規設備投資(今期実施・来期計画)

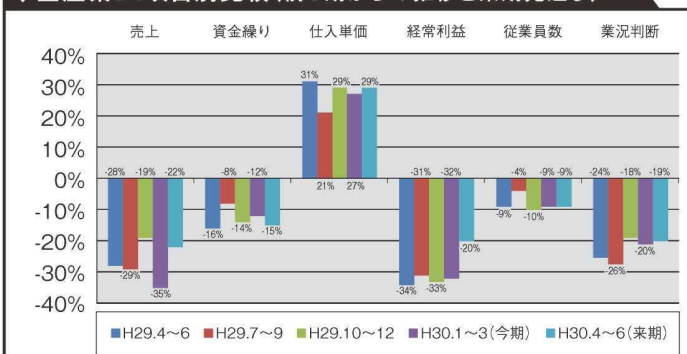
【今期設備投資】



【来期設備投資計画】



◆全産業DI項目別比較(前3期からの推移と来期見通し)



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	需要の停滞 21.6%	熟練技術者の確保難 19.4%	需要の停滞 21.5%	利用者ニーズの変化への対応 16.0%
2位	原材料価格の上昇 16.2%	従業員の確保難 12.9%	購買力の他地域への流出 16.9%	需要の停滞 14.7%
3位	生産設備の不足・老朽化 10.8%	下請業者の確保難 12.9%	販売単価の低下・上昇難 12.3%	従業員の確保難 12.0%

※DIとは、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。